

紙ふうせん

KAMIFUSEN NO.66

成田市立図書館だより 第66号 2008年（平成20年）12月1日発行

編集 成田市立図書館 〒286-0017 千葉県成田市赤坂1-1-3 ☎ 0476-27-4646

FAX 0476-27-4641

<http://www.library.narita.chiba.jp>



「おはなしがらがらどん」が、2008（平成20）年度子どもの読書活動優秀実践団体として、文部科学大臣表彰を受けました。

子どもの読書活動優秀実践団体

文部科学大臣表彰

本年4月23日（子ども読書の日）、子どもの読書活動を推進するための、特色ある優れた実践を行っている団体として、成田市のおはなしと読み聞かせのグループ「おはなしがらがらどん」が、文部科学大臣表彰を受けました。

国立オリンピック記念青少年総合センターでの表彰式の後、「おはなしがらがらどん」のメンバーは全国の代表として、事例発表を行いました。



表彰後に行われた「おはなしがらがらどん」のメンバーによる事例発表の様子

「おはなしがらがらどん」は、図書館主催の「婦人ボランティア養成講座」の修了生等を中心に平成2年に結成され、おはなしと絵本の読み聞かせなどの活動を続けているグループです。

現在、メンバーは25人で、毎月勉強会を行い、おはなしや絵本の読み聞かせなどのスキルアップに努めています。

また、図書館と協力して、季節のおはなし会や小学校への訪問おはなし会を行っており、それらの活動が評価され、今回の表彰となりました。



平成13年12月に「子ども読書活動の推進に関する法律」が制定されました。その趣旨は、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備を推進するというものです。

成田市では、平成16年6月に「成田市子どもの読書活動推進計画」を策定しました。この計画に基づき様々な活動を展開しています。



文部科学大臣表彰を受けた「おはなしがらがらどん」の皆さん

成田市立図書館では、おはなしや絵本の読み聞かせ、わらべうたなどの手遊びを通じて豊かな感受性を育みながら、子どもたちがおはなしの世界の楽しさを知り、本に親しんでもらえるよう努めています。

学校訪問おはなし会や、季節のおはなし会の他に、下記の定例おはなし会も行っています。新一年生向けブックリストの配布や、学年別おすすめリストの作成もしています。

また、学校図書館の支援のため、調べ学習に必要な本の貸出なども行っています。

これらの活動が認められ、成田市立図書館も昨年度、「子どもの読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受けています。



0・1才おはなし会で

定例おはなし会

・土曜日のおはなし会

毎週土曜 3時から
4才くらい～小学生

・えほんとおそぼう 0・1才おはなし会

隔月 0・1才児と保護者対象

・えほんとおそぼう 2・3才おはなし会

隔月 2・3才児と保護者対象

おはなし会の開催予定は、広報なりた及び図書館のホームページでお知らせしています。

児童講座「結晶ってきれいでしょう！ 結晶ツリーを育てよう」

7.27開催

講師 科学読物研究会 坂口 美佳子氏



科学離れと言われている子どもたちと科学の本の橋渡しを目的としているこの講座が、12回目となる今年も、小学生50人の参加を得て開催されました。

「みなさんは、結晶をみたことありますか？」の質問から始まり、みんな配られた用紙に思い思いに結晶について書き出しました。これを受けて先生が、「ものは、すべてどれも小さなつぶ、原子でできています。これは、とても小さいので目では見えません。このつぶが規則正しくキチンと並ぶと

結晶になります。身近なところでは、塩・砂糖などです。」と紹介しました。その後、尿素をお湯で溶かし、結晶を作り、虫めがねで観察をしました。その次は、鉱物の結晶を紹介し、直に手にとって観察しました。特に方解石は、へき開と言われる規則正しい割れ方をする石で、カナヅチで割ることも体験しました。結晶は美しいだけでなく、よい性質をたくさんもっているのです。様々なところで役に立っています。それぞれの結晶の特徴を知ることによって結晶への興味を深めていきました。最後に自宅で作る結晶ツリーのセットをもらい、解散となりました。

参考になる本

『けっしょうづくり』 牧 衷 / 構成・文 偕成社 『固体＝結晶の世界』 板倉聖宣 / 著 仮説社
 『鉱物』 塚本治弘 / 著 あかね書房 『台所でみつけた宝石』 田中 実 / 著 大日本図書
 『塩』 片平 孝 / 著 あかね書房 『砂糖と塩の実験』 高梨賢英 / 著 さ・え・ら書房

赤ちゃんも絵本が大好き Part 12

「ぼくはまる」「ぼくはさんかく」「ぼくはしかく」
 三浦太郎 / 作 ブロンズ新社

ぼくは まる、おひさまも まる、めだまやきも まる……。
 いろんな まる、さんかく、しかくがいっぱい!! 赤ちゃんと一緒に、いろんな形を楽しんでみてくださいね。



「まるまる」 中辻悦子 / 作 福音館書店

まるい穴の中からのぞくきれいな色や、いろんな形との組み合わせが楽しい絵本です。まるまるさんかく、まるまるしかく、まるまるこまる、など“まるまる”という言葉の響きや繰り返しを楽しみながら赤ちゃんとのコミュニケーションしてみたいかがですか。



編集後記

図書館には毎日、大勢の子ども、親子連れが本との出会いを求めて訪れます。きょうも、お母さんが本を選び終わり、帰り際、バギーカーの中から小さな手が「バイバイ」してくれました。こちらも手を振りながら「また、来てね!!」と心の中で呼びかけました。

成田市立図書館だより No.66
 発行 成田市
 編集 成田市立図書館
 〒286-0017 千葉県成田市赤坂1-1-3
 ☎0476-27-4646
 発行日 2008.12.1
 登録番号 成教図08-033